

1. 第1期基本計画（素案）の全般的な項目について

番号	項目	指摘事項	対応
1	「政策分野における目標」	<ul style="list-style-type: none"> ● 目標は既存の行政計画からの抜粋か。 ● 目標は複数ではなく、一つにまとめた方が良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 参考としていますが、基本計画用に整理したものです。 ● 目標は、各政策分野に対し1つとしました。
2	「背景（現状と課題）」	<ul style="list-style-type: none"> ● 施策との関係が整合しているか。順序が揃っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係、順序ともに改めて整理を進めています。
3	「施策」	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係する市役所の部署名を記載した方が良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 施策が必ずしも部署と1対1の関係になっていないことから、基本計画では記載しません。基本計画を元に作成する実施計画にて、個別事業名と担当部署名の記載を行います。
4	「進捗管理指標」	<ul style="list-style-type: none"> ● （現状の設定指標には課題が見られるため、）目標や施策との関係性、定性的な指標と定量的な指標の特性などを踏まえ、改めて精査すべき。 ● 指標に地域子育て支援センターやファミサポなど個別事業に絡む言葉が出てくるが、中身がわからないため、どの施策と連動しているのか分かり難い。 ● 具体的な数字をどこまで書き込む必要があるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「定量的な指標」については、設定手法について検討中です。 ● 「定性的な指標」については、目標や施策との関係を踏まえて設定しました（これに基づき、今後市民アンケートを実施予定）。

2. 「まちづくりの目標1～2」の個別項目について

番号	政策分野	指摘事項	対 応
1	1. 子育て	<ul style="list-style-type: none"> ● ここでの対象となる子どもの年齢について定義した方が良いのでは。ヤングケアラーなどの問題もあるため、乳幼児期から青年期まで切れ目のない支援は重要。 ● 外国籍や発達などの課題についても記載すべきでは。 ● 児童虐待件数を指標化することも検討してはどうか。 ● 子ども医療費の拡充はどこに位置付けられるのか。 ● 市民意識調査において、公園などの子どもの遊び場のニーズが高かったことについても触れるべきではないか。 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 「まちづくりの目標1～2」に係る個別指摘事項については、内容を精査中です。 ✓ 次回の審議会（7/13開催）にて対応結果をお伝えする予定です。 (以下同) </div>
2	3. 学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後、部活動については、地域のスポーツとの連携も含めて見直しを図ると聞いている。今後の部活動に関する視点も含めるべきでは。 ● 「地域とともにある学校づくりの推進」における地域とはどの範囲を指すのか。 	●
3	4. 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ● ICT教育について、機器や備品の整備も必要だが、教員側のアップデートに係る視点も含めるべきでは。 ● 保護者や先生が課題を相談できる仕組みが求められているため、相談機能の充実についても記載すべきでは。 	●

4	5. 青少年育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 放課後児童会について、共稼ぎ世帯が利用するものであり、女性のキャリアの観点からも重要であるため、SDGsの「5. ジェンダー平等を実現しよう」も位置付けるべきでは。 ● 民間が実施しているこどもの居場所づくり、子ども食堂といった取組みとの連携も記載すべきでは。 	●
5	6. 生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1. スポーツ・文化活動の推進」について、拡充や拡大を図るという表現が見られるが、プラスの内容だけではなく、減少を抑えるという表現があっても良いのでは。 	●
6	8. 地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 「3. 自分らしい暮らしを支える仕組みづくり」について、人材の育成についても記載すべきでは。 	●
7	9. 障がい福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 「3. 障がい児福祉の充実」について、「就学前」と限定する必要は無いのでは。継続的に支援する必要があるのではないか。 	●
8	10. 高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 「5. 高齢者の生きがいづくり支援」について、フレイル予防などにも役立っているため、「老人クラブ活動」に限定しなくても良いのでは。 	●

9	11. 人権・多文化共生	<ul style="list-style-type: none"> ● 「3. 男女共同参画社会の推進」について、相談体制の充実についても記載すべきでは。 ● 事業名が列挙されているが、もっと広い視野に立って取り組んでいく必要があるのではないか。 	●
10	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な分野で、指導者・担い手の高齢化や減少に伴う人材の養成について記載されている。市民団体の手を借りるなどの手法も必要では。 	●